

チャペル週報

No.14

2018.7.9 ~ 7.20

平和をこそ、わたしは語るのに
彼らはただ、戦いを語る。

(詩編120編7節)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

7月9日(月) 神 松隈 協(高等部宗教主事)
経 ヒューマンサービス支援室活動報告
岡 秀和(ボランティアコーディネーター)
人 田淵 結(院長)
理 ALL讃美歌プログラム①
聖和 聖書物語「ソロモン王」

7月10日(火) 神 Rohan Smith(交換留学生)
文 春学期チャペルパーティー
社 私にとって大切なことば⑥ 打樋 啓史(宗教主事)
法 大宮 有博(宗教主事)
経 学期末を迎えて① 舟木 讓(宗教主事)
商 Chapel in English 高森 桃太郎(商学部助教)
理 ALL讃美歌プログラム②
総 藤井 琴己、梅田 佳奈(総合政策学部2年生)
教 梶原 直美(宗教主事)

7月11日(水) 神 キリスト教音楽に触れよう③
水野 隆一(神学部教授)・神学部トーンチャイム隊
社 私にとって大切なことば⑦ 原 真和(聖和短期大学教授)
法 Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 学期末を迎えて② 舟木 讓(宗教主事)
商 Chapel in English Jessica Kawamura(神戸ユニオン教会インターン)
人 嶺重 淑(宗教主事)
国 学期末を迎えて 平林 孝裕(国際学部長)
理 ALL讃美歌プログラム③
総 村瀬 義史(宗教主事)
教 岡本 哲雄(教育学部教授、副学部長)

7月12日(木) 神 山内 慎平(神学研究科M2)
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 学期末にあたって 難波 功士(社会学部長)
法 大宮 有博(宗教主事)
商 福島 旭(中学部宗教主事)
国 Chapel in English Eun Ja Lee(宣教師)
総 学期末チャペル
聖和 JAZZ礼拝 竹中 真(ジャズピアニスト)

7月13日(金) 院 山本 俊正(商学部宗教主事)
神 中道 基夫(神学部教授)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
人 大和 三重(人間福祉学部長)
理 ALL讃美歌プログラム④

7月20日(金) 院 山本 俊正(商学部宗教主事)

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)
7月13日(金) 幼稚園のために 赤木 敏之(幼稚園園長)

人生左右する何かと出会う夏

富田 宏治

もうすぐ夏休みだ。数十日に及ぶまとまった休みを手にすることができるのは、大学生の特権だ。ひとたび社会に出てしまえば、リタイアする日まで、これだけまとまった休みを得ることはもうない。だからこそこの夏に一人ひとりが自分の人生を左右するような何か—それは出来事でも、場所でも、人でも、物でもよい—と出会うような夏休みを過ごして欲しい。

ちなみに私は40年前の大学1年生の夏、8月6日のヒロシマを仲間たちとともに訪れた。この夏以来、40年間、私は8月6日のヒロシマと8月9日のナガサキに、ほぼ欠かすことなく身を置いている。ヒロシマ・ナガサキをくり返すな、再び被爆者をつくるな、核兵器をなくせ。大学1年の夏に出会った被爆者の方々の願いを我がこととして引き継ぎ、その実現を目指し続けること。それが私の大学教員としての仕事とは別の、個人としてのライフワークとなった。この40年の間、数多くの被爆者の方々と出会い、そして別れを余儀なくされた。その都度、その体験、願い、生き様を継承することをひそかに心に誓ってきた。こうして40年前の夏は私の人生を左右する夏となった。

学生時代の夏休み。多くの学生諸君にとって、わずか4回しかないチャンスである。部活、アルバイト、留学、語学研修、インターンシップ、ボランティア。目前に控えた就職活動も念頭に、エントリーシートに書くことのできる「体験」を積むことに忙しいことではあろう。長期の休みを大いに満喫しつつ、就活も睨みながら、自分の成長につながる有意義な「体験」を積み上げて欲しい。しかし、それだけに止まるとすればもったいない。本当に一人ひとりの人生を左右するような夏にして欲しい。

この夏の出会いが、自分の人生を左右するものなのかどうかは、結局後々になってからしかわからない。それを狙って出会えるものでももちろんない。ただただ貪欲に多くの人と出会い、話をし、遊び、楽しみ、本を読み、どこかに出掛け、ふだんやれないことに取り組んでみるほかはない。

昨年の夏、一昨年の夏、自分の人生を左右するような何かと出会っただろうか。出会っているのかもしれない。まだ出会えていないのかもしれない。この夏をどう過ごすべきか。夏休みを前にしっかりと考えてみたい。

(副学長)

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。【どなたでもご自由にご参加ください。】

(17:50～18:20 1405教室)

7月主題:「学期末を迎えて」

7月12日(木) 舟木 讓 (宗教総主事)

7月19日(木) Ruth M. Grubel (社会学部教授・宣教師)

●関西学院会館の日曜礼拝

授業・試験期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

7月22日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

●第213回ランバス演奏会 リコーダー・アンサンブル「レアル」リサイタル

「レアル」は1997年に関西学院大学応援団総部吹奏楽部OB・OGを中心に結成。ランバス演奏会への出演は21回目を迎えました。バロック音楽を中心に古楽からジャズに至るまで幅広いジャンルの音楽をレパートリーに活動しています。

と き: 9月26日(水) 17:30開演

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 宗教センター <入場無料>

●秋の献血週間のお知らせ<西宮上ヶ原キャンパス>

春学期もご協力を頂き感謝申し上げます。宗教総部献血実行委員会では、秋も引き続き献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力を引き続きお願いします。

期 間: 10月1日(月)～5日(金)

受付場所: 吉岡記念館ラウンジ

主 催: 宗教総部献血実行委員会

●関西学院チャペルオルガニスト秋の発表会

各学部のチャペルで奏楽を担当するチャペルオルガニストはじめレッスン生たち55人が日頃の練習の成果を披露します。パイプオルガンに関心のある方、そしてランバス記念礼拝堂に入ったことのない方もお気軽にお越しください。演奏中以外は入退場自由です。

と き: 10月6日(土) 10:00～16:00(予定)

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

指導者: 太宰まり、能島亜未、坂倉朗子、西山聡子

主 催: 宗教センター

●オルガン音楽の泉 2018 Fall semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第28回 10月12日(金) 西山 聡子(本学オルガン講師)

第29回 11月16日(金) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

第30回 12月5日(水) 桑山 彩子(京都カトリック河原町教会オルガニスト)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ: 関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催: 宗教センター

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。

【どなたでもご自由にご参加ください。】

第3回 10月25日(木) 18:30～20:00

第4回 1月10日(木) 18:30～20:00

ところ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力: 関西学院宗教活動委員会

春学期の「チャペル週報」は本号が最終号となります。授業期間中毎週月曜日発行の本紙には、各学部のチャペルスケジュールほか、教職員によるエッセイなどを掲載しています。この欄は執筆者のお人柄や読者へのメッセージに触れることができる場です。各学部のチャペルとともに、あなたの心に何かを残すことができれば幸いです。秋学期の発行は9月21日(金)からです。よい夏休みを!